

目標 2 生涯を通じた学びを支える³³

1 概要

- 公民館、図書館、生涯学習センター、博物館等については、第4次千葉市生涯学習推進計画の中心を担う学習支援施設となります。計画の推進に当たっては、各施設における着実な事業の実施が不可欠であることから、施設ごとに3つの施策展開の方向性にあわせて取り組み状況を評価することとします。
- また、教育委員会事務局が担う生涯学習・社会教育振興事業についても、学習支援施設が行う事業と同様に、施策展開の方向性とあわせて取り組み状況を評価することとします。

2 成果指標

(1) 公民館

① 公民館の概要

本市の公民館は、原則として1中学校区に1館設置しており、地域拠点として「つどい・まなび・つなぐ」役割を担っています。

各公民館では、地域住民の多様化する学習ニーズに対応し、各種学習講座を行い、社会教育の振興及び生活文化の向上を図っています。

② 施策展開の方向性1 学習成果が「生きる」地域づくりを進める

項目	23 年度	24 年度 目標	24 年度 達成値	25 年度 目標	目標値 (27年度)
公民館文化祭の参加者数	25,058	30,000	24,987	30,000	32,000
主な事業	○公民館文化祭の支援 公民館を利用するクラブ・サークルの日ごろの学習成果を発表する場として公民館文化祭を支援します。				

③ 施策展開の方向性2 市民生活や地域社会の課題を「学ぶ」機会を提供する

項目	23 年度	24 年度 目標	24 年度 達成値	25 年度 目標	目標値 (27年度)
公民館の主催事業数	792	800	823	860	920
延べ受講者数	47,121	47,600	48,089	50,000	53,000

³³ 教育基本法第3条によれば、①国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、②その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、③その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が、生涯学習の理念とされている。

主な事業	○家庭教育支援の拡充 子育てママのおしゃべりタイム、親子ふれあい教室などを開催します。 ○少年教育 子どもチャレンジ広場、子ども科学教室などを開催します。 ○成人教育 パソコン講座、ボランティア養成講座などを開催します。 ○高齢者教育 高齢者携帯電話活用術、介護予防講座などを開催します。 ○団体・グループ活動の助成（指導者養成・育成事業） クラブ・サークル研修会、子ども会リーダー育成講習会などを開催します。 ○地域の交流事業 ふれあいコンサート、児童・生徒作品展などを開催します。
------	--

④施策展開の方向性3 学びを「支える」環境づくりを進める

項目	23 年度	24 年度 目標	24 年度 達成値	25 年度 目標	目標値 (27年度)
公民館の施設利用者数	1, 173, 183	1, 185, 000	1, 184, 500	1, 202, 000	1, 237, 000
主な事業	○公民館の施設利用状況 地域づくりを支える社会教育団体などを支援するため、施設を提供します。				

(2)図書館

①図書館の概要

中央図書館を中核とし、各区の地区図書館 6 館と 6 分館、1 分室、移動図書館車 1 台 27 ステーション、さらに 21 の公民館図書室により市内全域に図書館サービスを提供しています。

さらに、すべての図書館・公民館図書室は、オンラインで結ばれ館内の端末機（OPAC）で資料の検索や予約できるほか、自宅のパソコンや携帯電話からもインターネットを通じ同じサービスを利用可能としています。

また、子ども読書活動推進計画（第 2 次）に基づき、子どもが読書に親しむ機会の充実を、学校等とも協力しながら進めています。

②施策展開の方向性1 学習成果が「生きる」地域づくりを進める

項目	23 年度	24 年度 目標	24 年度 達成値	25 年度 目標	目標値 (27年度)
地域おはなしボランティアの登録者数	91	106	111	120	120

主な事業	○「地域おはなしボランティア」の養成と人材活用 地域おはなしボランティア養成講座を計画的に実施し、ボランティアとして各地域で読み聞かせやおはなし会を行う人材を派遣します。
------	--

③施策展開の方向性2 市民生活や地域社会の課題を「学ぶ」機会を提供する

項目	23 年度	24 年度 目標	24 年度 達成値	25 年度 目標	目標値 (27年度)
来館者数	2, 836, 125	2, 837, 000	2, 763, 818	2, 825, 000	2, 947, 000
貸出冊数	4, 197, 708	4, 198, 000	4, 030, 491	4, 148, 000	4, 384, 000
主な事業	○資料の貸出 自主的な学習、調査研究、趣味、娯楽などのために必要な資料及び情報を利用者に提供しています。				

④施策展開の方向性3 学びを「支える」環境づくりを進める

項目	23 年度	24 年度 目標	24 年度 達成値	25 年度 目標	目標値 (27年度)
図書館のレファレンスサービス件数	87, 009	87, 000	87, 525	88, 000	90, 000
図書資料の蔵書数	2, 156, 624	2, 186, 000	2, 203, 389	2, 216, 000	2, 276, 000
主な事業	○レファレンスサービスの充実 利用者からの質問に対し、課題解決に役立つ資料や情報源を提供し、市民の学びを支えます。 ○図書資料の収集 市民ニーズに応えるため、資料の計画的な収集整備を進め、併せて寄贈による収集も行います。				

(3)生涯学習センター

①生涯学習センターの概要

生涯学習センターは、市民の誰もが気軽に立ち寄ることのできる、千葉市の生涯学習の中核施設です。

多様な学習講座や講演会を開催し、幅広く学習機会を提供するほか、学習相談やボランティアコーディネート等により市民一人一人の学習活動や地域で活躍する団体活動を支援しています。

②施策展開の方向性1 学習成果が「生きる」地域づくりを進める

項目	23 年度	24 年度 目標	24 年度 達成値	25 年度 目標	目標値 (27年度)
ボランティアコーディネート件数	118	125	144	160	190
まなびサポーターの登録人数	99	100	110	120	140

主な事業	○ボランティアセンターの運営 市内で活動するボランティアや団体の情報を収集し、講師や活動支援を求める学習グループ等とのコーディネートを行っています。 ○学習ボランティア活動の支援 市民の知識と経験を生かすため、学習支援施設の事業を市民と協働で企画運営します。
------	---

③施策展開の方向性2 市民生活や地域社会の課題を「学ぶ」機会を提供する

項目	23 年度	24 年度 目標	24 年度 達成値	25 年度 目標	目標値 (27年度)
生涯学習センターの主催事業数	406	410	413	418	428
延べ受講者数	52, 233	53, 000	52, 564	53, 500	54, 500
主な事業	○生涯学習に関する講座、講演会等の開催 「ちば」を学ぶ「ちばカレッジ」、親子や各世代を対象とした講座やニーズをとらえた講演会等、「千葉市」に根差した独自性、専門性を有する学習機会を提供します。 ○指導者等の養成 地域で活動する人材を育成するため、ボランティア等養成研修を実施します。 ○生涯学習活動の支援 学習成果を発表する機会の提供や市民企画講座等の開催、パソコン講座の開催等の学習活動の支援を行います。				

④施策展開の方向性3 学びを「支える」環境づくりを進める

項目	23 年度	24 年度 目標	24 年度 達成値	25 年度 目標	目標値 (27年度)
生涯学習センター施設利用率	39. 3%	44%	42. 6%	45%	47%
主な事業	○生涯学習相談、生涯学習情報の提供 生涯学習情報を収集し、広く市民に提供するとともに、生涯学習センター及び他の公共施設等で学習相談を実施します。 ○学習活動の場の提供 市民の生涯学習活動の拠点施設として、ホール、研修室、会議室の貸出を行います。				

(4)科学館

①科学館の概要

千葉市科学館は、日常の視点で科学を捉え、子どもから大人まで楽しめる参加体験型科学館です。活動を支えるスタッフやボランティアによる、人から人へのコミュニケーションを大切にした「人が主役」となる施設です。ふとした日々の疑問や、何気なく見過ごしている現象を科学と結びつけて紹介し、来館者と気づきを共有すること

を目指しています。

②施策展開の方向性1 学習成果が「生きる」地域づくりを進める

項目	23 年度	24 年度 目標	24 年度 達成値	25 年度 目標	目標値 (27年度)
科学館ボランティアの延べ活動者数	8,001	8,500	8,530	8,750	9,000
主な事業	○ボランティア事業 科学館ボランティアによる館内外のワークショップ等での活動の支援を行います。				

③施策展開の方向性2 市民生活や地域社会の課題を「学ぶ」機会を提供する

項目	23 年度	24 年度 目標	24 年度 達成値	25 年度 目標	目標値 (27年度)
教育普及事業の実施回数	324	325	322	325	330
延べ参加者数	16,238	17,000	18,616	20,500	22,500
主な事業	○教育普及事業 土日講座、サマースクール、クラブ講座、講演会など多種多様なイベントの実施や、多くの学校団体による科学館を活用した学習を実施します。 ○ボランティア養成・研修 科学館ボランティア育成のための新規研修・ステップアップ研修などを開催します。 ○先進的 science 館連携推進事業 大学、研究機関、企業、市民等、多くの団体が関わった科学フェスタの開催、大学等と連携した先進的な科学講座、学校教育への支援として教員向け研修会を実施します。				

④施策展開の方向性3 学びを「支える」環境づくりを進める

項目	23 年度	24 年度 目標	24 年度 達成値	25 年度 目標	目標値 (27年度)
科学館の入館者数	384,001	390,000	406,205	409,000	412,000
企画展の入館者数	31,300	40,000	47,731	48,000	50,000
プラネタリウムの入館者数	142,437	145,000	143,253	145,000	145,500
主な事業	○展示事業 常設展示と結びつけたワークショップの実施、携帯端末を利用した「プラスサイエンス」の運用及び企画展示を実施します。 ○プラネタリウム事業 星空解説やデジタル映像を映し出す一般投影、天文学習に対応した学習投影の実施、星空観察会などの天文事業を展開します。				

(5)加曽利貝塚博物館³⁴

①加曽利貝塚博物館の概要

加曽利貝塚博物館は史跡加曽利貝塚の指定地内に、野外博物館の中核施設として昭和 41 年に開館しました。

「貝塚を残したむらびとたち」をテーマとして、加曽利貝塚から発掘された縄文土器・石器・動物・魚や人骨等を展示し、東京湾周辺に住んでいた縄文時代の人々の生活のようすが分かりやすく解説してあります。

②施策展開の方向性1 学習成果が「生きる」地域づくりを進める

項目	23 年度	24 年度 目標	24 年度 達成値	25 年度 目標	目標値 (27年度)
博物館ボランティアの延べ活動者数	1, 289	1, 700	1, 625	1, 700	1, 800
主な事業	○加曽利貝塚解説ボランティアの育成と連携 来館者へのサービスを向上するため、解説ボランティアを養成し、施設及び展示の解説、体験学習などを実施します。また、各種教育普及事業などをボランティアと市が連携して行います。				

③施策展開の方向性2 市民生活や地域社会の課題を「学ぶ」機会を提供する

項目	23 年度	24 年度 目標	24 年度 達成値	25 年度 目標	目標値 (27年度)
教育普及事業の事業数	6	7	8	8	8
延べ受講者数	386	800	1, 295	1, 400	1, 600
主な事業	○教育普及事業 土器づくり講座、考古学講座及び郷土史講座などを実施します。				

④施策展開の方向性3 学びを「支える」環境づくりを進める

項目	23 年度	24 年度 目標	24 年度 達成値	25 年度 目標	目標値 (27年度)
博物館の入館者数	15, 844	16, 000	17, 838	21, 000	30, 000
企画展等の入場者数	9, 023	10, 000	10, 502	12, 500	18, 000
主な事業	○管理・展示事業 市民の学習活動の場として、企画展や縄文土器作品展示などを実施します。				

³⁴ 平成 27 年度、加曽利貝塚博物館では、国の特別史跡指定申請に伴う環境整備として展示リニューアル等による臨時休館を検討しているが、通常通り開館した場合の推計値を記入している。

(6)郷土博物館

①郷土博物館の概要

郷土博物館は昭和 42 年 4 月 9 日、観光課の所管施設「千葉市郷土館」として開館し、昭和 58 年 4 月に「千葉市立郷土博物館」と館名を改め、歴史・民俗系の博物館として活動しています。

②施策展開の方向性1 学習成果が「生きる」地域づくりを進める

項目	23 年度	24 年度 目標	24 年度 達成値	25 年度 目標	目標値 (27 年度)
博物館ボランティアの延べ活動者数	1,310	1,400	1,416	1,500	1,600
主な事業	○郷土博物館展示解説ボランティア 来館者の理解を深めるため、解説ボランティアが展示の解説などを行います。				

③施策展開の方向性2 市民生活や地域社会の課題を「学ぶ」機会を提供する

項目	23 年度	24 年度 目標	24 年度 達成値	25 年度 目標	目標値 (27 年度)
教育普及事業の事業数	6	6	6	7	7
延べ受講者数	651	650	432	650	650
主な事業	○教育普及事業 歴史講座、ふるさと講座、体験学習、夏休み小・中学生郷土史講座、鎧作り体験講座、歴史散歩などを実施します。				

④施策展開の方向性3 学びを「支える」環境づくりを進める

項目	23 年度	24 年度 目標	24 年度 達成値	25 年度 目標	目標値 (27 年度)
博物館の入館者数	31,411	35,000	40,644	41,000	42,000
企画展等の入場者数	18,726	25,000	24,566	26,500	29,500
主な事業	○管理・展示事業 市民の学習活動の場として、企画展や特別展を開催します。				

(7)教育委員会事務局が行う生涯学習・社会教育振興事業

①教育委員会事務局が行う生涯学習・社会教育振興事業の概要

教育委員会事務局では、各学習支援施設などでの学習成果が地域づくりへ生きる仕組みづくりを進めるための生涯学習・社会教育振興事業を実施しています。

②施策展開の方向性1 学習成果が「生きる」地域づくりを進める

項目	23 年度	24 年度 目標	24 年度 達成値	25 年度 目標	目標値 (27年度)
放課後子ども教室の年間延べ指導員・協力員数	26, 443	41, 000	26, 523	45, 000	52, 000
子育てサポーターの延べ活動者数	236	230	286	300	432
主な事業	○放課後子ども教室の推進 小学校の施設を活用して、放課後の子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の多様な人々の参画を得て、さまざまな体験・交流活動などを実施する取り組みを全小学校で推進します。 ○家庭教育の支援 子育て中の保護者の仲間づくりや子育てに関する悩みの相談に応じるため、子育てサポーターによる「子育てサロン」を開催し家庭教育の支援を行います。				

③施策展開の方向性2 市民生活や地域社会の課題を「学ぶ」機会を提供する

項目	23 年度	24 年度 目標	24 年度 達成値	25 年度 目標	目標値 (27年度)
放課後子ども教室関係者研修の参加人数	96	120	128	150	180
放課後子ども教室の年間延べ参加児童数	101, 731	150, 000	103, 419	150, 000	174, 000
子育てサポーター研修会の参加人数	33	60	51	60	90
科学フェスタ関連のイベント数	173	182	317	350	400
主な事業	○放課後子ども教室の推進 小学校の施設を活用して、放課後の子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の多様な人々の参画を得て、さまざまな体験・交流活動などを実施する取り組みを全小学校で推進します。 ○家庭教育の支援 公民館における子育て支援を実施する子育てサポーターに対するスキルアップ講座（研修会）を開催します。 ○未来の科学者育成プログラム 科学に高い関心を持つ中学生・高校生に対し、その能力を伸ばすための質の高い学習プログラムを提供し、千葉市内の大学等の研究機関や企業などが有する先端科学技術を体験させることにより、未来の科学者を目指す生徒を育成します。 ○科学フェスタ 市民が日常生活の中で科学・技術を身近に感じることができる総合的な科学・技術の祭典として「科学フェスタ」を開催するとともに、様々な団体・				

	企業等が、情報交換、連携することにより、サイエンスネットワークの構築を図ります。
--	--

④施策展開の方向性3 学びを「支える」環境づくりを進める

項目	23 年度	24 年度 目標	24 年度 達成値	25 年度 目標	目標値 (27年度)
開放した小学校数	2	3	3	4	6
主な事業	○特別教室開放事業 学校・家庭・地域住民の連携及び協力を推進するため、地域住民に小学校の特別教室を開放し、地域における団体活動を支援することにより、子どもの健全育成、地域活動の活性化および生涯学習の振興を図ります。				

(8)教育委員会事務局が行う文化財調査保護事業

市民意識醸成のために欠かせない千葉の歴史や文化を体現する多種多様な文化財を価値・内容に合わせて適切な保護措置をとるとともに、教育資源として活用します。

項目	23 年度	24 年度 目標	24 年度 達成値	25 年度 目標	目標値 (27年度)
千葉市指定および登録文化財の数	54	55	56	57	60
埋蔵文化財調査センターでの埋蔵文化財展示事業年間入場者数	3,863	3,900	4,770	5,000	5,500
出前授業を除いた埋蔵文化財調査センター文化財普及事業の延べ学習者数	1,709	1,500	2,000	2,300	3,000
埋蔵文化財調査センターの出前授業を利用する児童・生徒数（延べ数）	6,240 小 31 中 0	6,500 小 31 中 1	6,650 小 31 中 1	6,900 小 31 中 1	7,400 小 31 中 2
小中別の学校数	小 26.3%	小 26.3%	小 26.3%	小 27.0%	小 27.2%
小中別の割合	中 0%	中 1.8%	中 1.8%	中 1.8%	中 3.6%
主な事業	○文化財調査保護事業 文化財保護の一環として千葉市文化財の指定及び登録を行います。 ○文化財普及事業 勾玉づくりや火起こしなどの体験学習や文化財を身近なものとして学習するための講座等を、学校や公民館等の出前講座として実施します。 ○小学校における千葉市の文化財や伝統文化についての学習 小学校中～高学年において、加曽利貝塚を通して縄文人の暮らしなどを学習することで、文化財に親しむ心を育みます。また、郷土芸能などを保護・育成して、子どもたちが身近に郷土の伝統文化に接する機会を提供します。				

3 平成 24 年度の評価および今後の課題に対する対応方針

(1) 公民館

○公民館については、年度事業計画に位置付けた各種事業を着実に実施した。

特に「家庭教育学級」「子育てママのおしゃべりタイム」等に代表される家庭教育講座では昨年度に比べて増加が見られた。

なお、平成 24 年 10 月より講座の申し込み方法の見直しを行い、今までハガキによる申し込みだけだったものを電子申請による申し込みを加え、市民の利便性の向上を図ることができた。今後は、地域の特性、地域住民のニーズ等を収集・把握しつつ、参加比率の低い 20 代～50 代の勤労世代など、幅広い層の参加を促していく。

(2) 図書館

○図書館については、子ども読書活動推進計画（第 2 次）、図書館サービスプラン 2010 に基づき各種事業等を着実に実施することができた。

特に、子ども読書まつりの参加人数は「政令指定都市移行 20 周年記念子ども読書まつり」として内容の充実を図ったため、参加者数が平成 24 年度目標の約 44%の大幅増になったほか、地域おはなしボランティアの登録者数やレファレンスサービス件数、図書資料の収集も平成 24 年度目標を達成した。

今後は、さらに市民ニーズに応え図書館利用を促進していくため、資料の充実を図り各種事業の積極的な展開・実施に努めるとともに、ICTを活用した図書館からの積極的な情報発信や学校・地域等との連携の充実・強化を推進していく。

(3) 生涯学習センター

○生涯学習センターについては、千葉市の生涯学習の中核施設として、様々なニーズに対応し、幅広い市民を対象とした多彩な講座・講演会や、「ちば」を多角的に学ぶ講座等、413 件の学習機会を提供し、延べ 52,564 人が受講する等、目標を達成した。

また、出前学習相談や町内自治会に対する資料配布等、積極的に周知に努めたことにより、ボランティアコーディネート件数は 144 件、まなびサポーター登録数は 110 人と目標を上回った。しかしながら、施設の利用率は 42.6%と前年度を上回ったものの目標値に達しておらず、さらなる生涯学習振興に努める。

(4) 科学館

○科学館については、企画展、講座、講演会、プラネタリウムなど、時節や来館者層のニーズに合った内容をテーマとした事業を数多く展開し、新規の来館者やリピーター層の拡充につながった。また、平成 24 年 5 月 21 日の金環日食の際には、千葉ポートパークで観察会を実施し、約 800 人が参加した。さらに、動物公園や千葉県立中央博物館と連携し、各施設の活性化に向けたプロジェクトを実施し、その取り組みが評価され（独）科学技術振興機構から、サイエンスアゴラ 2012 審査員特別賞を受賞した。

来館者数は、406,205人と、開館以来の年度合計で最高を記録した。

今後は、千葉市科学都市戦略のキーステーションとしての役割を果たすため、連携先を拡充し、さらなる事業の充実、発展を図っていく。

（5）加曽利貝塚博物館

○加曽利貝塚博物館については、小学生からシニアまでの幅広い世代に縄文時代の貝塚文化や郷土の歴史を学ぶ機会を提供する事業として、考古学、郷土史の講座や、土器づくり、火起こし等の体験学習等の普及事業を実施したことに加え、展示事業においては、観覧者の作品に対する理解と関心をより深めることができるよう、解説ボランティアを養成し、展示解説を行っている。

また、平成 24 年度は、加曽利貝塚をより多くの市民に知ってもらうため、新たに、関係機関や民間事業者と連携したイベントとして、駅からハイキングを開催したこと等により、年間入場者は対前年度 30%増の伸びとなった。

今後も、平成 27 年度の国特別史跡申請に向け、他部局、他機関及び民間事業者等と連携し、学術的視点に加え、観光的視点を取り入れたイベントを企画、開催し、積極的なPRを行うことにより集客力の向上に努めていく。

また、施設面においては、野外施設の耐震診断を実施した結果、耐震補強工事が必要となることが明らかとなったため、利用者の安全且つ快適な観覧環境を確保すべく、博物館本館も合わせて必要な改修、整備を計画的に実施していく。

（6）郷土博物館

○郷土博物館については、多くの市民に郷土の歴史を学ぶ機会を提供するため、各種歴史講座をはじめ、鎧作り体験講座等の普及事業を実施した。また、展示事業においては、観覧者の作品に対する理解と関心をより深めることができるよう、解説ボランティアを養成し、展示解説を行っている。

また、平成 24 年度は、新たに民間事業者と連携した観光イベントとして、桜めぐり&ウォーキング、いのはな山文化祭を開催したことなどにより、年間入場者は対前年度 30%増と大幅な伸びにつながった。

今後もより多くの市民に郷土博物館の事業に関心を持ち、施設を利用していただけるよう、加曽利貝塚博物館はもとより、科学館、美術館、埋蔵文化財調査センター及び民間企業等との連携を密にし、観光的視点も盛り込んだ魅力的なイベントを企画、開催することで集客力の向上に努めていく。

（7）教育委員会事務局が行う生涯学習・社会教育振興事業

○放課後子ども教室については、全小学校で実施することができ、延べ参加児童数も前年度に比べ 1,700 人増加したが、各学校の取り組み状況は地域性や学校規模等により大きな開きがある。

この状況を改善すべく、平成 24 年度より放課後子ども教室連絡協議会を設立し、コーディネーターの技術向上のための研修会の充実や各種学習支援プログラムの情報発信に努めてきた。

今後は、各学校のコーディネーターが地域の特性や学校規模に応じた問題、課題等の情報を相互に共有できる場を設け、課題解決に努めていく。

○家庭教育の支援については、子育てサポーターを 7 人増員することにより、子育て相談や仲間づくりの支援活動の充実を図ることができた。

また、子育てサポーター研修会を実施することにより、子育てサポーターのスキルアップを図ることができた。

今後は、複雑多様化する子育てに関する悩みや不安に的確に対応できるよう、引き続き子育てサポーター研修会を実施するとともに、内容の充実に努める。

- 未来の科学者育成プログラムについては、受講生は、普段入れない場所で、個人ではなかなか受けられないメニューを体験し、科学技術を学んでいく意欲をさらに高めることができた。

平成 25 年度は、中学生・高校生のニーズに対応できるように、様々な分野を体験する総合コースに加え、千葉大学連携コースや医療系コースなどの複数コースを提供する。

さらに、各自の研究テーマと育成プログラムの学習が連動できるようにしたり、各自の研究がより深めたりできるように、研究相談や特別セミナーなどを充実させる。

- 科学フェスタのメインイベントについては、参加団体の公募を広げ、内容の充実に図ったことにより、約 11,000 人の来場者があった。また、サテライトイベントを年間通じ開催することにより、科学イベントを数多く実施することができた。

さらに、参加団体の交流会や情報交換会、「メインイベント出展団体紹介冊子」の作成などが新たな連携や事業の拡充につながるなど、市民の科学リテラシーの向上や科学に対して関心をもつ機会及びサイエンスネットワークの基礎を構築することができた。

今後は、更に幅広い層からの参加、強固なサイエンスネットワークの構築、情報発信の強化などについて、例えば、一般市民向けの広報手段の拡充、大人向けイベントの充実、科学研究につながる内容の工夫等、具体的な課題を洗い出し、市民が日常の中で科学を感じることができる科学フェスタを目指していく。

- 特別教室開放事業については、平成 24 年度は、10 月から海浜打瀬小学校の開放を開始し、目標通り 3 か所の小学校で実施することができた。

平成 25 年度は、平成 27 年度の全区での実施を目指し、稲毛区の緑町小学校での実施に向けた関連事務を進めていくと共に、未開放の中央・若葉両区について対象校の選定を実施する。

(8)教育委員会事務局が行う文化財保護事業

- 文化財を活用した普及活動として、学校、公民館や放課後子ども教室等を対象に出前講座を行い、市民、児童・生徒から地域の歴史や古代の知恵などへの興味を引き出すことに努めている。
- 様々な文化財を総合的に把握し、保存して活用する視点が求められており、市内の文化資産の状況の把握と活用方法の検討が、大きな課題となっている。文化財は地域の歴史と文化を体現するもので、より多くの人に知ってもらい、地域のきずなの核として後世に引き継ぐよう努めていく。
- 埋蔵文化財の保護行政では、開発等に伴う照会件数が年々増加して、遺跡の処理数も増えており、事業者への指導に努めていく。